

◇ 「中信ビジネスフェア2011」への出展による 栄養アセスメント・栄養相談

[はじめに]

毎年10月に京都中央信用金庫主催で地元企業、団体や大学、府、市等の研究機関による大商談会が開催されている。本年度はその第24回目に当たり、当施設としては5回目（栄養クリニック開設前の年度から広報活動として出展）の参加となる。今年は10月19日（水）・20日（木）に京都府総合見本市会館（パルスプラザ）展示会場で開催され、約200ブースを使用した異業種間での交流があり、大学関連の参加は約10校であった。見学来場者数は一般市民を含む約8,000人であった。栄養クリニックは1ブースを使用し、指導員2名、クリニックスタッフ1名と学生ボランティア5名（食物栄養学科3・4回生）が参加した。

[参加目的と実施内容]

本ビジネスフェアの見学に来られた一般市民や企業の方々を対象に、栄養クリニックの開設目的やこれまでに実施したさまざまな活動事例をパネル媒体で紹介すると共に、今後予定されている事業紹介を行った。また、健康維持や生活習慣病予防の市民への積極的な啓発活動の一環として、骨密度測定、ヘモグロビン測定、握力測定などを無料で実施し、これらの栄養アセスメント体験から各自の健康への関心を深めていただいた。希望者には、結果説明や身長と体重の自己申告から体格指数（BMI）や理想体重（IBW）を求め、各自の健康管理に有益な食事と運動についての情報を提示した。また、個人的な栄養相談にも応じた。

ボランティアとして参加する学生は、将来病院や社会福祉施設などの管理栄養士を目指す3、4回生であり、受付、測定の内容説明、各種測定を担当した。来訪者と気持ちよく対応でき、満足していただけるような接し方を実践で学び、これらの体験から専門職業人としてのコミュニケーション力を養い、管理栄養士の資質向上に役立てることをねらいとして参加してもらった。

[成 果]

参加者は18歳から80歳代までと幅広く、2日間で約220名を受け付けた。そのうち約130名が詳細な結果説明や栄養相談を受けられた。また、企業商談会のため、参加者の過半数が50～60歳代の男性、続いて同年代の女性が多かった。昨年度より2割増の利用があり、スタッフは休憩時間が十分に取れない程、常に対応に従事していたが、これまでの経験からスムーズに対応することができた。問題がある方には、従来通り生活状況に応じた食事や運動を中心としたアドバイスを行った。多くの方から、「自分の骨量、貧血、体力、栄養状態を知ることができたので、来た甲斐があった」などの感想をいただき、熱心にメモを取られる方もあった。また、

パネル展示による栄養クリニックの活動紹介にも関心を示され、同週末に行った栄養クリニックの公開講座へお越し頂いた方もいらっしゃるなど、栄養クリニックの認知が高まり、成果があったことを実感した。

栄養相談の内容は、メタボ対策、糖尿病、高コレステロール血症、高尿酸血症、心臓病、胃腸障害、骨粗鬆症、咀嚼問題、などさまざまであった。リピーターもかなりおられ、「昨年も測定してアドバイスをしてもらい、為になったので今年も来た」「実はこのブースが目当て」という声を参加者から頂いた。

ボランティアとして参加した学生は、「アセスメント測定と参加者とのコミュニケーションを体験することができたのは大きな収穫であった」、「長時間でしんどかったが、とてもやりがいがあり、終わってみると、楽しかったので、また参加したい」、「始めは対応に緊張したが、参加者と色々な雑談をしている内に、緊張感がとれてスムーズに動けるようになった」等の感想であった。短い休憩時間を利用して、京都の代表的な企業のブースを見学し、「一堂で京都の企業を知ることができてよかった」等の感想であった。長時間の活動にもかかわらず、笑顔でお迎えし積極的に好感が持てる対応ができていた。これからの管理栄養士は、アウトソーシングで実施される事業の中で活躍する場面も増えると思われる。自ら課題を設定し、企画・立案から実施、評価、課題を解決できる力が益々必要になってくると思われる。臨機応変に対応する能力を身につけることは、社会に出て人として成長するためにも必要である。在学中に栄養クリニックの行事に積極的に参加し、その能力を培い、実践力のある管理栄養士の養成に役立つことを願う。

(田中清子)

